

機関紙 たいとう に
皆様の記事をお寄せ下さい！

採用された方に
500円分クオカードを
プレゼントします。



東京土建一般労働組合

台東支部

〒110-0012 台東区竜泉1-15-2

Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965

Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp

HP:http://doken-taito.jp

編集 杉本 郁代

賃金・単価の引上げは今しかない

秋嵐にもめげず決起集会を開催

11月17日、年に2回行われる予算要求集会がありました。この集会は土建国保を含む建設国保への補助金要請をメインに、諸要求実現を目指し各省庁・東京都と交渉するものです。

皆さん知っていますか、私たちの建設国保の予算35%ほどが国から、2%が東京都から

の補助金で構成されています。ですから、少しでも補助金が少なくなると私たちの保険料が上がってしまうの

です。これは力が入る集会になるのもわかりますよね。17日午後からの全国集会は雨にもかかわらず44都道府県から1800人を超す仲間が日比谷野外音楽堂に集まりました。これに込めるように自民

党・公明党・立憲民主党・国民民主党・共産党・社民党の各国会議員が一言挨拶を述べ我々

の要請書を受け取りました。自民・公明には色々と言いたいことがありますが、こと予算要求に関しては期待したいところです。

その後いつものように日比谷公園→銀座→鍛冶橋とデモ行進をして町の皆さんにアピールしてきました。日頃の行いがいいのか悪いのかわかりませんが雨はデモ行進出発時には上がっていました。本



日比谷公園を出発します

会派と担当部署に代表団を送り出します。代表団は予算要求だけではなく仕事と就労確保、諸要求実現のため1時間の短い交渉に挑みます。が、私の向かったのは東京都だけなのです。産業労働局との交渉は我々の要求に対して歯切れの悪い返答で暖簾

松が谷分会 寺山邦裕

自然の声に耳を傾けてみる モノづくりの楽しさ実感

台東支部では住まいの相談室が中心となり、台東区主催の『環境（エコ）フェスタたいとう』に20年以上参加してきました。参加団体は多岐にわたり、企画内容も様々です。支部では従来の木工教室、ドングリ・松ぼっくりトイに加え、畳コースター、ペットボトルキャップアクセサリーの製作を企画しました。また、組合員の木工製材所より木っ端を分け



力作が完成しました

てもらい、子どもたちに自由工作をしてみようこととしました。落下した自然のドングリ・松ぼっくりを使い、畳コースターの材料は端材、ペットボトルのキャップも廃材利用、自由工

作も木っ端を利用と、環境フェスタのテーマに合わせた企画としてアピールします。11月18日土曜の初日は朝から子どもたちが多数来場しました。可愛く飾ってあったドングリ・松ぼっくりトイの見本を見た親子連れからは、「私も作りたい」との声がきかれました。畳コースター製の

作とペットボトルキャップアクセサリー作りも大盛況でした。2日目の日曜は親子連れが多く、「昨日は時間がなくて見るだけだったから、今日は朝からきた」と声を弾ませる小学生もいました。畳コースターは用意した100セットのうち90セットが作成され、ペットボトルキャップアクセ

サリーも100セット中80セットが無くなりました。木工教室では住まいの相談室の指導員と親子が作製を楽しみ、用意した木っ端材はほぼなくなりまし

た。また住宅相談も2件ありました。住まいの相談室の役員のほか、女性会の役員も協力いただき、トラブル等なく無事に終えることができました。東京土建台東支部のブースには157組393人が来場し、工作やアクセサリー作りを楽しみました。フェスタ全体では2日間で11,364人が足を運びました。



木洩れ日

今年はいきなり冬將軍がやって来るかもしれない。急に寒くなり大雪になる所もあるらしい。寒いのは辛い。心が踊る喜びもある。霜柱を踏んだ時の感覚や、真っ白な雪景色、美しい雪の結晶、暖炉や焚火の炎、暖かな布団に包まれての眠り、私の好きな毛皮のもふもふした肌触りなど、数えあげていくだけで今年の冬も乗り切れそうなのになんてくるから私も単純な人間だ。

私の大切なもの

～分会リレートーク～

浅草中央分会の3回目、松が谷四丁目交差点近くに事務所を構える株式会社ハルナ建設の代表取締役でもある茂木真さんに話を伺いました。

創業は1959年、古い組合員には吉原工務店の名前でピンとくる方もいるのではないのでしょうか。学生時代にアルバイトをしていた事がきっかけでそのまま入社したとの事。ご出身は群馬県。地元



話を聴かせてくれた茂木社長



丁寧な仕事が評価された表彰の盾

送っています。そんな茂木社長が大切にしているのが20年以上続いているゴルフです。会社には綺麗なゴルフバックや練習用のパターが置いてあり、いかに大切にしているかが伝わってきます。また、事務所の棚には取引先から表彰された

いくつもの盾が綺麗に整頓されて飾られ、仕事に対する丁寧さが伺えました。最後に、お気に入り場所を聞いた所、金美館通りの「割烹たむら」との事。もしかしたらお店でお会いしている方もいるかも知れませんね。

感じられましたが、徐々に汗がにじみ出します。かつての炭焼跡の炭焼平のあたりから、ところどころ急な登りになってきます。その後

の先を抜け、最初のピークの白岩山の山頂に10時前に着きました。再度下り、平坦ですが狭い崖沿いの道が続くため緊張の時間が続きます。1時間ほど

を取り下山を開始します。来た道に戻るだけだったのですが、途中う回路でコースを間違え1時間近くタイムロスしてしまいました。

リルート後は順調に歩を進めることができました。強行軍でしたが日没前の17時過ぎに下山することができました。

K・M

単独山行記

〔東京、埼玉、山梨 雲取山〕

東京都最高峰の雲取山を日帰りで登頂すべく、埼玉の秩父三峰神社口へ向かいました。三連休の真ん中9月17日早朝に出発し、7時前に駐車場に着き単独山行を開始しました。登山口の鳥居をくぐり、薄暗い樹林帯を進みます。始めはやや肌寒く

あの有名なミシク
まんのろくろかき

一度下り、開けた鞍部のお清平を過ぎると本格的な急登が始まりました。鎖場や急な木製の階段を登り、針葉樹林

曇天のため眺望に恵まれなかったのは残念でした。昼食を兼ねて30分ほど休憩



2000m超の東京で一番高い場所

私たちにとって守るべき大切な平和憲法です



国会前を人が埋め尽くします

た一票でも

11月3日文化の日は憲法発布の日です。ちなみに5月3日の憲法記念日は憲法施行日です。11月3日国会前の南庭園前で憲法集会が開かれ、台東支部からは5名が参加しました。当日は小春日和を越えて少し暑いくらいで

したが参加者は多く歩道は人であふれ、早々に庭園内の木陰に避難しました。集会が始まり各労働団体からの訴えがありました。野党国会議員からは政権与党の現行憲法に対する姿勢への批判、非難の声、これはどこまで届くのでしょうか。でも行動しなければ、小さな声でも発信していかなければ、何かも始まらないと思います。選挙に行つて一票を投じる、たった一票でも

持続可能な建設業の実現に向けた100万人署名に協力ください

建設業は他産業と比較して年収が10%以上低く、長時間労働に加え、ご家族や事業所従業員にも声かけをお願いします。

完全週休2日制の会社が少ないのが現状です。

魅力ある、そして持続可能な建設産業に向けて、関連施策の実現を求める署名です。

今後の関係省庁との協議においても非常に重要な取組みとなります。

100万人署名

東京土建

実現のチャンス

一人2筆、必ず署名を